

大発生!!

ガの幼虫

の見わけ方

昨年、一昨年と全国各地でイモムシ型のガの幼虫類が大発生！「ヨトウムシにやられた～」という人が多かったが、それは本当にヨトウムシだったのか？ムシが違くと効く薬も違ってくるみたいだ。簡単な見わけ方を紹介しよう。

(182ページからもご覧ください)

写真提供、指導：
田中寛(大阪府立農林技術センター)

あっ

イモムシが出る！
よーし何の幼虫か
見わけてやるぞ

スタート

被害が畑全体に同じようではなく、ところどころの株の2～3枚の葉が集中的に食われている

Yes



ヨトウムシ
の仲間

ヨトウムシの仲間は、みんな、メスが1カ所に50～100個くらい卵を産むので、幼虫は集団で葉を食べる。他のイモムシは卵がバラバラに産みつけられることが多く、被害もあちこちになる。しかし、ヨトウムシの仲間にも、いろいろいるのだ。

頭の後ろに黒い斑点がある

No

Yes



ハスモンヨトウ

頭の斑点は若齢幼虫にも老齢幼虫にもあるので明瞭。



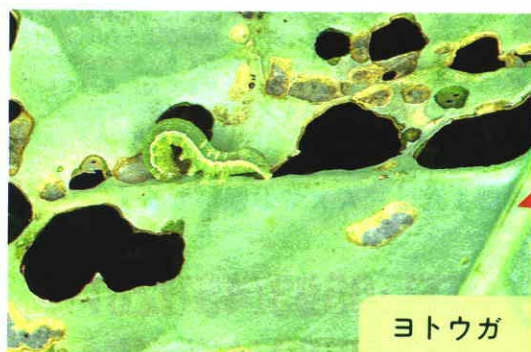
コナガ

老齢幼虫は、さわると体を左右に振って、後ずさりする。老齢幼虫はモンシロチョウ幼虫と見わけにくいですが、頭が黒いほうがコナガ。



シロイチモジヨトウ

老齢幼虫は、体の両側にピンク色の点がならんでいることが多い。



ヨトウガ

No

体の長さは1cmよりずっと大きい(老齢幼虫の場合)

No

Yes

※タマナギンウワバやカブラハバチの幼虫、ヨトウムシの仲間も1cmより大きい。



オオタバコガ

果実や茎に入ってしまう最近大問題のイモムシ。体の脇の黒いホク口から毛が生えているのが特徴。昔からいるタバコガとは、見わけがつかないくらい似ている。

No

集団で暮らす若齢幼虫は、シャクトリムシのように歩く

Yes

これが「元祖ヨトウムシ」だ。薬もわりと効きやすい。